

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市早良区城西1丁目計画	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市早良区城西1丁目160	構造	RC造
用途地域	近隣商業地、準防火地域	平均居住人員	140 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2022年12月14日
敷地面積	1,455 m <sup>2</sup>	作成者	(株)IAO竹田設計 九州事務所
建築面積	539 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月14日
延床面積	5,356 m <sup>2</sup>	確認者	(株)IAO竹田設計 九州事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 83%

③ 上記+②以外の: 83%

④ 上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物利用者の快適な生活環境を維持するため遮音性を高め、安全性を考慮してF☆☆☆☆の建材やノンフロン断熱材を採用している 耐用年数の高い建材の使用やリサイクル材を採用し資源の有効利用に心がけている	<b>その他</b> 特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 住宅性能表示基準等級4を取得し高い外皮性能を有するF☆☆☆☆の建築材料を全面的に使用し室内環境に配慮	<b>Q2 サービス性能</b> 情報社会に対応し大容量ブロードバンド設置 住宅性能表示基準の劣化軽減等級3取得により耐用年数の長い建物とする	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内にできる限りの緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明等、設備システムの効率化に配慮している	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロンの断熱材を採用し室内の良好な環境に努めている 節水機器やリサイクル材を採用し資源の有効利用に心がけている	<b>LR3 敷地外環境</b> 路上駐車させないように適切な台数の駐車場の設置 駐車場の出入を円滑にし、渋滞がおこらないように配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される